



# 林 声

2022

9 月号

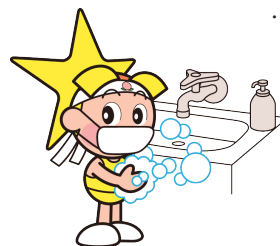


県内各地の森林を紹介する「様々なスタイルの森・おかやま」。今回は、小田郡矢掛町で、荒川化学工業株式会社の皆さまが、社会貢献や社員の環境教育、レクリエーションとして取り組んでいる企業との協働の森づくり「マツタロウの森」をご紹介します。矢掛地区の亀島キャンプ場周辺では、多くの企業が様々な森づくりに取り組んでおり、「マツタロウの森」では、桃太郎松（抵抗性アカマツ）に特化した植樹活動を継続して行っています。写真は、平成28年度植栽地から見た矢掛町中心部です。

(詳細はP 2に記載)

## 目 次

様々なスタイルの森・おかやま ～企業との協働の森づくり 「マツタロウの森」矢掛町～	2	技能講習等情報	10
生き活き！林業の現場（総社市農林課）	3	保安林・林地開発許可制度	11
普及指導区の情報（勝英普及指導区）	4	林産物市況	11
「おかやま森づくり県民税」事業の概要	5	森林・林業施設の紹介 （備前プレーパーク！森の冒険ひみつ基地）	14
林業普及指導員等中央研修	6		
研究だより（広葉樹の有効利用に関する調査研究）	7		
第74回全国植樹祭について	8		
岡山県林業研究グループ交換研修大会	9		

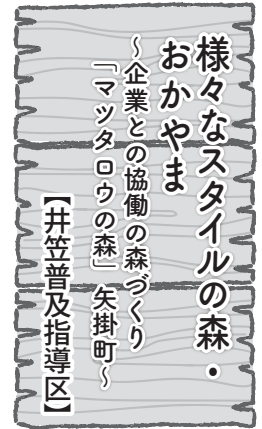


©岡山県マスコット「ももっち」

### 【ほっけ～木になる情報】

Q. なぜ、おかやまの森整備公社と岡山県森林協会は合併したのですか？  
(答は13ページ)





一 はじめに

「マツタロウの森」は、荒川化学工業株式会社（大阪市）が、創業一四〇周年記念行事として、平成28年9月に、矢掛町と森づくり協定を締結し、町有林4・3畝の森林保全活動を行うため、桃太郎松（抵抗性アカマツ）を植栽している森林です。



キャラクター「マツタロウ」が入った案内板

二 位置

「マツタロウの森」は、井原鉄

道矢掛駅から北側に見える、車で7分程度走った山間部にあります。周辺には、町が運営している亀島キャンプ場があり、シャープタカヤ電子工業株式会社や立花容器株式会社などが活動している森林と隣接しています。また、この秋には、ダイダン株式会社中国支店が植樹活動を開始するようになっていきます。

三 きっかけ

荒川化学工業にとって松は、特別な存在です。松から採れる松脂（まつやに）を精製した天然樹脂「ロジン」は、製紙用薬品や印刷インキ用樹脂、粘着・接着用樹脂の製造に無くてはならないものです。1950年代までは、国産松脂の最大産地であった岡山県から多くの松脂を購入していました。昭和45年には、倉敷市水島コンビナートに工場を開設しています。

荒川化学工業の化学の起点となった松脂との関係は、創業以来、長い歴史を歩み続け、これからも松と関わり、岡山とのご縁を大切にすするため、県や町のシンボルの木となっているアカマツの植栽による森づくりで貢献していくことが考えられ、平成28年11月から植樹活動が始まっています。

「マツタロウの森」を整備することで、社員やその家族、そして地域の方々との交流・絆ができ、10年後の一五〇周年に向けて、人と松が共に成長できる森を目指しています。将来には、松脂の採取など社員研修の場としての活用も考えられています。



令和3年11月6日 第14回活動  
社員やその家族が参加

四 活動内容

「マツタロウの森」プロジェクトは、10年の歳月をかけて、マツ材線虫病の被害に強い、抵抗性アカマツを中心に約1万本を植栽する計画です。

植栽時期は、11月と3月で、社員やその家族が矢掛を訪れ、植栽を行っています。下刈などの保育管理については、備中南森林組合

に委託して実施されています。また、岡山県の二酸化炭素吸収量の認証も毎年取得し、植栽本数とともにモニタリングを行い、年間吸収量10t・CO<sub>2</sub>以上の目標設定を行っています。これまでの植栽本数は、累計で4,780本、令和3年度に認証された二酸化炭素吸収量は、6,19t・CO<sub>2</sub>です。



令和3年3月6日 第13回活動  
桃太郎松200本の植栽状況

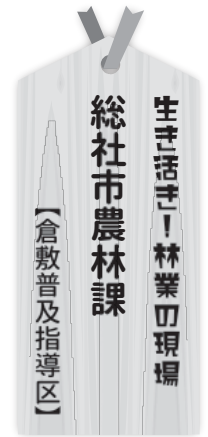
五 最後に

キャラクター「マツタロウ」は、松林に住んでいる松の妖精です。「マツタロウの森」が育ち、大きくなることを夢見ています。

普及指導区も、活動を支援しながら、マツ林から立派な森へと育つことを期待しています。

（井笠普及指導区 小倉 浩一）





### 一 はじめに

総社市は岡山県の南西部に位置し、東部は岡山市、南部は倉敷市に隣接しています。人口は69,794人（令和4年6月末日現在）、総面積は21,190㏎のうち約63%の13,324㏎が森林です。人工林率は約10%と低く、広葉樹中心の天然林地域です。

市の中央を北から南に岡山県の三大河川のひとつ高梁川が貫流しており、年平均気温は16.5℃前後、雨量は年間1,000mm前後で、瀬戸内海特有の温暖、少雨の気候です。

今回ご紹介する総社市農林課は、農林係、工務係、地食べ係の3係で構成されており、森林業務は農林係の3人が担当しています。

### 二 森林経営管理制度の推進

森林経営管理制度が導入されて以降、意向調査などを備中南森林組合に委託しており、令和3年度末までに12件、17㏎の経営管理権

集積計画を策定するとともに、市町村森林経営管理事業による間伐を5.64㏎実施しました。

同森林組合総社支所は、農林課と同じ市庁舎3階のフロアにあることから、情報共有や協議など密にできる環境にあり円滑な事業の実施につながっています。



市町村森林経営管理事業による間伐

### 三 森林環境譲与税の活用

#### ① 里山保全活動助成

令和2年度から里山の有する多面的機能が持続的に発揮されることを目指して、町内会、地域コミュニティ組織等、市内に住所を有する概ね10人以上で構成されるグループが行う植樹、下刈のうち実施面積が、概ね1㏎以上のものに

対して助成しており現在までに3団体（6件）、40.29㏎を整備しました。

#### ② 新庁舎への木材利用

市では令和6年度に新庁舎建設を予定しており、内外装に市産材や国産材を積極的に利用する計画を進めています。

設計など作業は緒に着いたばかりですが、市の新しい顔として、木材をいかに活用できるか、関係者で思案しているところです。

#### ③ 福山遊歩道保全事業

市の南端に位置する福山は、標高が302.3㏎あり、太平記にも登場する歴史遺産の多いところです。近隣からハイキングに訪れる人も多く、遊歩道の下草刈りや階段修繕などを行っています。



福山遊歩道補修状況

### 四 おわりに

林務担当の土井主任に、今後の抱負をお伺いしたところ、「この7月の異動で初めて森林・林業に携わることになりました。これから業務を通じて、市の緑豊かな森林環境を次世代に引き継げるよう、頑張っていきたい。」とのことでした。

当普及指導区では、引き続き、総社市の森林経営管理制度及び森林環境譲与税を活用した取組みを支援していくこととしています。

（倉敷普及指導区 田畑 秀將）



福山からの展望



**普及指導区の情報**

**一貫作業の取組みについて**  
(美作東備森林組合)  
**【勝英普及指導区】**

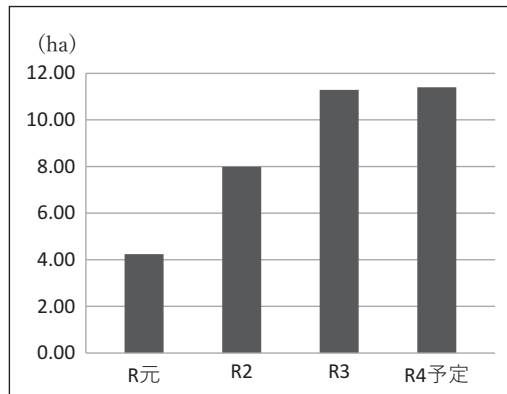


一貫作業を実施した現場

**一 はじめに**  
今回は、勝英普及指導区内で皆伐再造林の一貫作業に取組む美作東備森林組合について紹介します。  
岡山県の民有林人工林は、5 齢級以下の面積が 1 割に対し、主伐期を迎えた 9 齢級以上が 7 割となっています。森林の多面的機能を持続的に発揮させるためには、「伐って・使って・植えて・育てる」林業サイクルを好循環させるため、主伐後の再造林の取組みが重要となっています。

**二 一貫作業の取組み**

美作東備森林組合では、令和元年度から本格的に一貫作業の取組みを始めました。当初は 4 鈔程度だった施行面積は、令和 3 年度には、11 鈔程度に増えています。令和 4 年度は、昨年度と同規模程度の実施を予定しています。



一貫作業面積 (美作東備森林組合)

**三 取組み状況について**

一貫作業の取組みの状況について、本森林組合の美作地区所長にお話を伺いました。

**① 一貫作業の取組みをはじめたきっかけは？**

森林所有者から皆伐したいとお話がありました。保安林であった

たこともあり、植栽、獣害対策を検討したことが、取組みのきっかけです。



一貫作業後1年の現場

**② コンテナ苗の特徴は？**

植栽可能期間が長いこと、植穴が小さく小枝の除去の手間が省けること、活着率がよいこと、仮植が必要ないことが、裸苗と比べての利点です。

**③ 獣害対策が必須ですが、獣害防護柵の設置方法はどのように習得されましたか。また、管理はどのように行っていますか。**

獣害防止柵の販売業者を招いて設置方法の指導を受けました。

設置後も、定期的な点検が必要で春先や下刈前、秋口には点検を

行います。また、これまでは点検や改修に係る費用は自費でしたが、今年度から単県補助事業に獣害防護柵の点検・改修に関するメニューが新設されたので、活用したいと考えています。

**④ 森林所有者の反応は？**

森林所有者への収益還元が大きいのので喜ばれます。しかし、地域住民の中には、災害の心配をされる方もいます。

**⑤ 今後の取組みの予定は？**

今後も、継続して年間 10 鈔程度の一貫作業に取り組みたいと考えています。今後、施行地を選定する際には、小規模皆伐とするなど、特に災害に考慮しながら取組みたいと考えています。

**四 終わりに**

一貫作業は、持続的な林業経営を行うっていく上でも必要不可欠であり、同時に少花粉コンテナ苗木の植栽により、花粉発生源対策と作業の合理化・効率化を推進するため、当普及指導区としても、美作東備森林組合の今後益々のご活躍に期待しています。

(勝英普及指導区 山本 恭大)



## 令和4年度「おかやま森づくり県民税」事業の概要

県では、県民の貴重な財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいくため、平成16年度から「おかやま森づくり県民税」を活用した森林保全事業を実施しています。

令和4年度は、731,690千円を活用して主に次の事業に取り組むこととしています。

### 1 水源の涵養、<sup>かん</sup>県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり (429,589千円)

#### (1) 健全な人工林の整備 (289,014千円)

緊急的な間伐等の促進、作業道の整備・補修等、スギ間伐材の搬出促進、林業被害をもたらすシカの捕獲対策及び花粉発生源対策等を支援します。

#### (2) 多様な森づくりと快適な森林環境の創出 (140,575千円)

荒廃した里山林の整備、ナラ枯れ被害木の重点的な駆除及び地域の実情や課題に対応した市町村による森林保全の取組を支援します。

### 2 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進 (255,857千円)

#### (1) 力強い担い手の確保・育成 (39,139千円)

新たな林業就業者確保に向けた取組、林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材の育成及び安全装備や労働強度の低減機材等の導入を支援します。

#### (2) 木材の利用促進 (216,718千円)

公共建築物等の設計・木造・木質化等、県産森林認証材を使用した木造住宅の新築・改修、県産材製品の販路拡大、F M認証等森林認証の取得促進の活用等を支援します。

### 3 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (46,244千円)

#### (1) 県民への情報提供 (27,284千円)

郵便局や図書館でのパネル展示、小学生向けの社会科副読本の作成等による普及啓発や身近に木と触れあえる空間を創出します。

#### (2) 県民参加による森づくり活動の推進 (18,960千円)

おかやま森づくりサポートセンターの活動支援や森づくり活動に取組む企業等への二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付、森林・林業学習ツアーの開催、緑化への意識や森林を守り育てていく心を育む契機として「みどりの大会」等を開催します。



健全な人工林へ向けての間伐実施



少花粉苗木への植替え



高校生への林業就業体験支援



公共建築物の木造化支援



木と触れあえる空間の創出



森林・林業学習ツアーの開催

各事業の概要については、林政課ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※岡山県林政課HP「おかやま森づくり県民税」URL：<https://www.pref.okayama.jp/page/433837.html>

(林政課 普及指導班)





一 はじめに

この研修は、林業の普及活動に対するニーズが多様化している中、効果的な普及活動を進めるため、林業普及指導員が一堂に会し、最新技術や情報の共有及びグループ討議を通じて林業普及指導員の資質向上を図ることを目的に実施することとしており、今年度は令和4年8月17日（水）に、きびプラザ（吉備中央町）で県林業関係職員40名が参加して開催したので、その概要を報告します。

二 中央研修の主な内容

(1) 普及指導区の取組報告

今回の中央研修のテーマは「森林経営管理制度に関する普及指導の取組等」としました。県下9指導区中3指導区から「森林経営管理制度の推進に向けた普及指導区の取組事例」の報告をいただいた後、意見交換を行いました。

(2) グループ討議

「市町村に積極的に進めてもらうための3つの心得」をテーマにグループ討議を行いました。ふせんを使用し思考を整理するKJ法

を活用し、テーマについての課題・問題点を絞り込み、KP法（紙芝居プレゼンテーション法）を用いて、グループごとに討議しました。「信頼関係を築く」「情報を共有する」「目標を設定し具体的なイメージを共有する」など、心得ていきたいことについて再確認できました。

(3) 普及指導の取組発表

さらに「木質バイオマス発電への燃料供給による検証支援」と題し、岡山普及指導区から普及活動発表をいただきました。



グループ討議 (KJ法による思考整理)

三 おわりに

県では、今回の研修や専門分野別の研修などを通して、今後も林業普及指導員の資質向上に努めてまいります。

(林政課 普及指導班)

(林政課 森林経営班)

イベント情報

開催日時	場 所	行 事 名 称 ・ 内 容	問 い 合 せ ・ 申 し 込 み 先 等
11/19(土)	おかやま共生の森・井原 井原市西江原町	おかやま共生の森・井原 森林活動（間伐体験）	井原市森林組合 tel:0866-72-0161
12/17(土)	おかやま共生の森・井原 井原市西江原町	おかやま共生の森・井原 森林活動（間伐体験）	
10/29(土)	龍ノログリーンシャワーの森 岡山市中区祇園	おかやま共生の森 森林活動（広葉樹剪定・巣箱の観察）	「龍ノログリーンシャワーの森」を守る会 事務局 tel:086-275-5073
12/3(土)	龍ノログリーンシャワーの森 岡山市中区祇園	おかやま共生の森 森林活動（つる切り、つる細工体験）	
10/29(土)	おかやま共生の森・柵原 美咲町書副	おかやま共生の森 森林活動（除伐、間伐体験・プレイパーク作り）	久米郡森林組合 tel:0868-66-0053
1/14(土)	おかやま共生の森・柵原 美咲町書副	おかやま共生の森 森林活動（除伐、間伐、枝打ち体験・しいたけ植菌）	
10/2(日) 10:00~15:00	高梁市松山 高梁美しい森	森づくり研修会「第1回 森づくりの基礎（森の分解者キノコに学ぶⅡ）」 キノコの生態観察と見分け方実習等	
11/3(木) 10:00~15:00	高梁市松山 高梁美しい森	森づくり研修会「第2回 森づくりの基礎（森林施業の考え方と未来への思考）」 施業地踏査、今後の施業検討等	おかやま森づくり サポートセンター tel/fax:086-441-8278 E-mail: morisapo@joy.ocn.ne.jp
11/5(土) 9:30~15:00	美咲町原田 美咲町林業センター (久米郡森林組合隣り)	森づくり研修会「第3回 刈払機の安全な使い方」 座学（刈払機の構造・点検・使用方法）、実技（刈払機の安全な操作方法）※終了証は交付されません。	
11/15(火) 9:30~15:00	真備町箭田 真備美しい森	森づくり研修会「第4回 竹の利活用」 スミヤケールによる炭焼き、竹の利活用について（講義）等	※詳細はおかやま森づくり サポートセンターHPを ご参照ください。
11/19(土) 9:30~15:00	美咲町原田 美咲町林業センター (久米郡森林組合隣り)	森づくり研修会「第5回 チェーンソーの安全な使い方」 座学（チェーンソーの構造・点検・使用方法）、実技（チェーンソーの安全な操作方法）※終了証は交付されません。	
12/1(木) 10:00~15:00	真備町箭田地内の竹林 集合：マービーふれあい センター駐車場	森づくり研修会「第6回 タケノコ採取のための竹林整備」 孟宗竹の搬出・利用・販売、未利用部分のチップ化等	



研究  
だより

広葉樹の有効利用に関する  
調査研究



一 はじめに

ナラ枯れ被害の拡大や、海外資源の枯渇などを背景に、県産広葉樹の有効利用の必要性が高まっています。多くの広葉樹では、材利用の前提となる乾燥方法や、材質などの情報が不足しています。

そこで、本研究室では、本年度から新規課題「広葉樹の有効利用に関する調査研究」をスタートしました。

二 研究の概要

本研究で扱う樹種は、同森林研究所林業研究室で昨年度からスタートしている「早生樹種の選抜・育種に関する調査研究」とリンクさせており、コナラやセンダンなどの広葉樹十一樹種にコウヨウザンを加えた十二樹種を対象としています。

対象樹種の中には、材質や乾燥方法について既知のものもありますが、未調査の樹種もあり、既存のデータを補完する形で、加工時に必要な基礎的な情報を調査していきます。

三 試験方法の紹介

研究成果として求められるのは、各樹種ごとの最適な乾燥方法（乾燥スケジュール）と、硬さや強度など材質に関する情報です。

今回は、乾燥スケジュールを得るための手法の一つである100℃試験法について紹介します。

木材は、乾燥により収縮しますが、その度合いは図1のように繊維方向、放射方向、接線方向で異なります。このため、木材は乾燥により反り、割れ、落ち込みなどの損傷が生じます(図2)。これらの損傷ができるだけ生じないよう、樹種ごとに最適な乾燥スケジュール

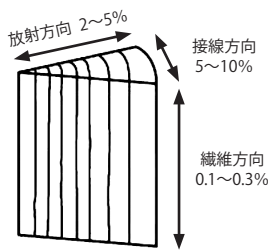


図1 木材の収縮率



図2 乾燥による損傷

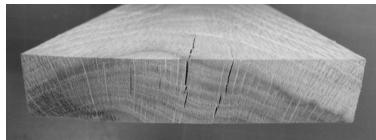


写真2 木口割れの例(コナラ)

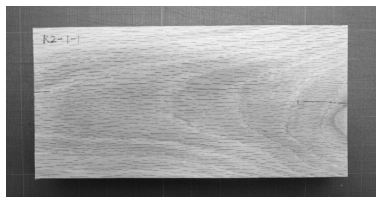


写真3 表面割れの例(コナラ)



写真1 恒温乾燥機による乾燥

（乾燥機内の温度、湿度、乾燥時間など）を求めていく必要があります。

100℃試験法は乾燥スケジュールが未知な材料について、調整した試験片を100℃/105℃下で急速乾燥させ、その損傷の程度から乾燥初期と末期の乾球温度及び、その間の乾湿球温度差を推定するものです。（試験方法の詳細は寺沢眞著「木材乾燥のすべて」海青社参照）

写真1のように試験片を恒温乾燥機で急速乾燥し、木口割れ、表面割れ、内部割れ、落ち込みなど

面割れ、内部割れ、落ち込みなどを調べ(写真2, 3)それぞれ程度により評価値を付けます。

さらに、その評価値から乾燥初期の温度、末期の温度、その間の乾湿球温度差を決定していきます。いくつかの樹種で100℃試験を実施したもののことから、コナラについて得られた乾燥スケジュールを表1に示します。

表1 乾燥スケジュールの一例(コナラ)

含水率(%)	乾球温度(℃)	乾湿球温度差(℃)
生材~100	49	3.3
90	49	3.3
80	49	3.3
70	49	3.3
60	49	3.3
50	49	3.3
45	49	4.2
40	49	5.5
35	49	7.1
30	49	9.2
25	56	11.8
20	65	15.3
15	75	20.0
10	75	20.0

四 おわりに

100℃試験で得られた乾燥スケジュールは推定値であるため、今後は、得られたスケジュールを用いて人工乾燥を行い、より適した乾燥スケジュールを模索していきます。また、材質については「JIS木材の試験方法」により、樹種ごとに必要なデータを収集していく予定です。

（森林研究所木材加工研究室  
専門研究員 阿部 剛俊）

第74回全国植樹祭について



第74回

晴れの国 光で育つ 緑の心  
**全国植樹祭**

岡山 2024

一 はじめに

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民の理解を深めるための国土緑化運動の中心となる行事です。

天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、県内外から多くの方々の参加のもと式典行事や植樹行事が行われます。

岡山県では昭和42年に開催して以来、57年ぶり2回目となります。

今回は全国植樹祭について知っていたため、大会の概要やその取組を紹介します。



大会シンボルマーク

二 第74回全国植樹祭の概要

第74回全国植樹祭は令和6年春

晴れの国 光で育つ 緑の心

に岡山県で開催します。式典会場は、ジップアリーナ岡山で、4,000人程度の規模で大会を実施します。会場の工作物等には、県産木材を積極的に使用し、大会開催後には、再利用します。

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。

式典会場以外にも、サテライト会場を真庭市のGREENable HIRUZEN（グリーンナブルヒルゼン）に設置します。

三 記念事業について

第74回全国植樹祭の開催機運の醸成を図るとともに、森林や身近なみどりの大切さについて、知っていたため、記念事業を実施します。

今年度行われる事業は、プレ地域植樹、苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）です。

地域植樹は、県民参加による植

樹を行う事業です。

今年度は津山市阿波の大ヶ山牧場跡地で実施します。植樹以外にも木工体験等のイベントを併催し、幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。令和5年度は県内5箇所で開催しますので、是非ご参加ください。

苗木の育成体験（苗木のホームステイ・スクールステイ）は、全国植樹祭の記念事業等で活用する苗木を、県内学校等に育成してもらう事業です。

令和3年度は、37団体に参加いただき、専門員による苗木の育成指導や、各県民局・地域事務所の御協力のもと、森林教室等を行いました。

今年度の参加団体には、どんぐり等を2年程度育てていただきます。育成後の苗木は、令和6年の全国植樹祭開催後のアフター地域植樹に活用します。

四 最後に

令和6年開催まで2年を切りましたが、当室では特色ある有意義な大会となるよう様々な準備を進めているところです。多くの県民の方々に関わっていただきながら、大会を盛り上げていきたいよう、引き続き取り組んでいきます。

（自然環境課全国植樹祭推進室）



令和3年度苗木の育成体験実施状況



第74回全国植樹祭HP



Twitter



Facebook



## 岡山県林業研究グループ 交換研修大会が 開催されました。

### 一 はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会の一大イベントである「岡山県林業研究グループ交換研修大会」が令和4年7月12日に、森林研究所森の館研修室（勝央町）において開催されました。

本大会は、林研グループの情報交換を行うことで、県下の林研グループの資質向上を図ることを目的に、毎年この時期に開催されてきたものですが、新型コロナウイルスの感染拡大以降は、開催が叶わない年が続いていました。

3年ぶりの開催となった今回は、例年より規模縮小となったものの、県内各地から10グループ、30名の御参加があり、県下の林研グループが久しぶりに一堂に会することができました。

大会では、各林研グループから活動内容の発表や近況報告があり、実りのある情報交換ができたほか、令和3年4月にオープンした「森林研究所林業技術研修棟」の現地視察を行いましたので、大会内容を紹介させていただきます。

### 二 林研グループの活動発表

例年恒例となっていたグループ活動の発表では岡山県林業未来会から「岡山県林業未来会の活動」と題し、真庭高校久世校地の生徒に向けた林業体験の様子や、久世保育園での木育などについて発表いただきました。設立から4年目の新しいグループですが、若さとエネルギーにあふれる活動を楽しそうに紹介する姿は、本大会に新しい風を吹き込むこととなりました。

さらに、今年度の中国・四国ブロック林業グループコンクールに参加していただく美作林業経営研究会からは「未来へ引き継ぐ森づくりを目指して」とのテーマで発表があり、ナラ枯れ被害対策の研究や、高性能林業機械を活用した



活動発表の様子  
(美作林業経営研究会)

搬出間伐現場の視察など、熱心に活動されている様子が伝わってくる内容となりました。特に、福田会長の「先人達から引き継いだ知恵や技術を次世代へと引き継いでいくことが、我々、林研グループに与えられた使命」との言葉には、多くの方が勇気づけられたのではないのでしょうか。

二つの発表のあとは、出席グループから近年の活動状況について報告いただきました。地域の小学生とのしいたけ植菌体験や全国植樹祭のイベントへの協力などが紹介され、コロナ禍で様々な制限がある中でも、それぞれが前向きに活動が続けていたことを確かめ合えた時間だったかと思えます。

### 三 現地視察

林業技術研修棟の視察では、県の担当者から、施設を整備した目



林業技術研修棟視察の様子  
(研修室(大))

的や、各種研修設備の説明があり、研修室(大)では、伐倒練習機や枝払練習装置等により、天候を気にすることなく、効率的に技術研鑽に励むことが出来ると解説されたほか、林業労働災害等の疑似体験ができる伐木技術教育VRシミュレーターなど、最新の研修機材の実演がありました。



伐木技術教育  
VRシミュレーターの実演

### 四 おわりに

半日の短い時間ではありましたが、発表や説明を熱心に聞き入られる姿や、久しぶりの再会を喜ぶお顔から、沢山の方が、本大会の開催を楽しみにしていることを改めて感じたところです。

事務局では、今後も、みなさまの期待に添う大会を企画していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(岡山県林業改良普及協会)

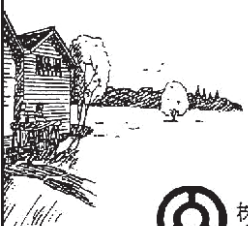
専門部会事務局



**技能講習会の開催（10月～12月）**

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	11月24～25日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	11月5～6, 10～11日 12月1～2日	
	笠岡	11月21～22日	
	玉野	10月18～19日	
	津山	10月3～4日	
	新見	10月20～21日	
フォークリフト運転	岡山	10月12, 22日 11月4日 12月7, 10日	
	笠岡	11月28日	
	津山	10月5日	



緑あふれる環境づくり

**株式会社 山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

**もりのたねごま**

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 森産業株式会社  
 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
 TEL 岡山(086)805-7033(代)

**おかやまの木で家づくり支援事業**

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）

詳細はコチラ <http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

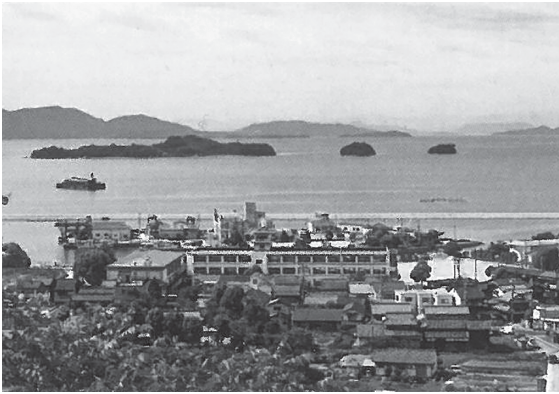
一般社団法人 **岡山県木材組合連合会**  
 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)  
 TEL (086)231-6677 FAX (086)232-7549

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材  
 防腐処理・ログハウス・デッキ

**さんもく工業株式会社**  
 〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
 TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130





航行目標保安林(瀬戸内市)

## 保安林・ 林地開発許可制度

### 一 保安林制度

森林は、水源の涵養や土砂の流出の防止等の公益的機能を有しており、公益的機能の発揮が特に要請される森林については、「保安林」に指定し、立木の伐採や土地の形質の変更などを規制しています。

保安林は、その目的により、水源涵養保安林など17種類ありますが、岡山県ではそのうち14種類が指定されており、県内の民有林の

うち、約17万畝(約36%)が指定されています。

なお、保安林に指定されると、固定資産税等の免除や、相続税・贈与税の控除が受けられるなどの優遇措置があります。

県では、保安林が指定の目的のとおり機能するように、許可等の手続や巡視、看板の設置などを行っています。

### 二 林地開発許可制度

保安林に指定されていない民有林において、工場や農用地の造成、土石の採掘等で1畝を超える開発を行う場合は、「林地開発許可制度」により、知事の許可が必要です。

許可に当たっては、開発によって森林の公益的機能が損なわれないよう、災害の防止、水害の防止、水の確保及び環境の保全の4つの観点から審査を行います。

保安林・林地開発許可制度の概要につきましては、岡山県治山課ホームページを「らんく」ください。

【岡山県治山課ホームページ】

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/58/>

soshiki/58/

(治山課 保全班)

## 林産物市況

### ●木材(8月19日)

・出荷量 約1,500m<sup>3</sup>

単位：千円/m<sup>3</sup>



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況
杉	3m	14~16	16	—	杉概況
		18~20	16	—	【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い
		22~28	16	—	【4m】 中目材 横這い 元木 横這い
	4m	18~22	13	11	
		24~28	13	11	
6m	16~18	—	—		
檜	3m	14~16	22	14	檜概況
		18~20	14	14	【3m】 柱材 弱含み 中目材 弱含み
		22上	15	14	元木 弱含み
	4m	16~18	15	14	【4m】 柱材 弱含み 中目材 弱含み
		20~22	15	14	
	6m	24~28	15	14	元木 弱含み
		16	—	—	
18~20	35	30			
	松	3m	18~22	—	—
4m		18~22	—	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

### ●製材(8月)

価格：円/m<sup>3</sup>



樹種	寸法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	100,000~	
	正角 3m 12cm角	特等	K	90,000~	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	100,000~115,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	105,000~	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	115,000~	
	正角 4m 12cm角	特等	K	105,000~	
マツ	平角 4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	95,000~	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm角	特等	G	82,000~	
	平角 3m, 4m 10.5×15~21cm	特等	K	112,000~115,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	120,000~	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	110,000~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



林業機械

# 中古林業機械 売ります！買います！



林業機械

**HITACHI Logisnext**  
日立建設機械  
油圧ショベル

**STIHL**  
三菱ロジスネクスト  
フォークリフト

各種林業アタッチメント  
**KEEPA NANSEI**  
**IWAFUJI MOROOKA**  
チェーンソー

**各種機械のレンタル・修理も承ります！**

## 富士岡山運搬機株式会社




林業機械

本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

**FOREST INSURANCE**



## 森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
 保険金ができるのは？  
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。  
 岡山県では過去5年間で約3千7百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

<p>樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年                  保険期間…5年 保険金額…最大188万円                  一括払いだと <b>27,444円 (5年間計)</b></p>	<p>樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年                  保険期間…5年 保険金額…最大299万円                  一括払いだと <b>43,325円 (5年間計)</b></p>
--	---

1ヶ月あたり  
約460円

➡

わずかおむすび  
4個分

1ヶ月あたり  
約720円

➡

わずかラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。  
 ○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



ほっけー木になる情報

**Q. なぜ、おかやまの森整備  
公社と岡山県森林協会  
は合併したのですか？**

**A.** 多様化するニーズに対応し、  
社会に貢献できる団体へと発展す  
るためです。

「両団体の沿革」

公益社団法人おかやまの森整備  
公社は、昭和40年の創立以来、公  
的な森林整備機関として、分収造  
林により奥地林や広葉樹林等で積  
極的に拡大造林を進め、その面積  
は県内民有林の人工造林面積の15  
%に相当する25千haに及び、農山  
村における就労の場の確保と地域  
経済の振興にも大きく貢献してき  
ました。

一方、一般社団法人岡山県森林  
協会は昭和57年の設立以来、治山  
林道事業の技術向上と普及啓発等  
に取り組み、農山村経済と林業の  
振興に寄与してきました。

いずれの団体も創設以来、名称  
の変更と改組を経ていますが、長  
年にわたって本県の森林の有する  
水源涵養機能、土砂流出防止機能  
等の多面的機能の発揮に大きく寄  
与してきたところであります。

「合併の経緯」

しかしながら、森林経営管理制  
度の創設など新たな仕組みによる  
森林の管理や近年多発する大規模  
な自然災害等への対応が急務とな  
るなか、対応力を一層強化し、持  
続可能な森林管理の推進や山地災  
害の未然防止を図るため、さら  
には、気候変動やSDGsの達成に  
貢献できる団体へと発展するため、  
令和4年4月1日付けで、両団体  
は合併することとなりました。

「合併の効果」

合併による森林整備及び森林保  
全の一体的な実施により、次のよ  
うな相乗効果が期待されています。

- ① 豪雨災害等発生時の技術支援体  
制の強化
- ② 森林経営管理制度の推進支援体  
制の強化
- ③ 路網整備及び森林整備の一体的  
な施工による搬出コストの削減、  
収益確保
- ④ 運営の効率化、財務基盤の強化

なお、合併後の存続法人は、「公  
益社団法人おかやまの森整備公  
社」となっています。また、合併  
に伴う住所は次のとおりです。

「新住所」

岡山県津山市二宮1849-2

(林政課 森林経営班)

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

【林地除草剤】 サイトロンフレノック微粒剤・サイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

【野生獣類忌避剤】 ランテクター水和剤・コニファー水和剤

【幼齢樹保護カバー】 くわんたいⅡ

【樹皮食い防止】 バークガード・美樹巻夫

【樹幹注入剤】 マッケンジー・マツガード・他

【野生草食獣侵入防止】 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288



**CT-500C**

・GP-532  
小型ハイパワープロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

**美津吉商事株式会社**

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

林声

森林・林業施設の紹介

「備前フリースペースパーク」  
森の冒険ひみつ基地

今回はNPO法人備前フリースペースパークの会が運営・管理する「森の冒険ひみつ基地」をご紹介します。  
この施設は、平成27年4月より地域子育て支援拠点事業として備前市の委託を受け、子どもの遊び場と親子の交流の場を提供しています。



森の冒険ひみつ基地

「森の冒険ひみつ基地」は、備前市久々井地内の自然豊かな里山にあり、滑り台やブランコといった手作りの遊具を備えています。遊び場からは瀬戸内海の海が遠望でき、海と山からの風が吹き抜け

令和四年九月一日（第四八五号）  
（隔月一日発行）

る気持ちのいい場所となっています。

森の冒険ひみつ基地は火曜から土曜の週5日運営されています。また、当施設に併設して3歳児から5歳児を対象とした森のようちえん「森っこえん」と0歳から2歳を対象とした小規模保育園「どんぐりえん」があります。令和4年3月に開園された「どんぐりえん」は木造平屋建てで構造材に県産ヒノキ材、内装にもヒノキ材をはじめとした県産材がふんだんに使用されています。どんぐりえんでは今後も園内に県産材を活かした木製品を導入し、子どもたちのところからだにやさしい環境づくりに取り組んでいくこととしています。



小規模保育園 どんぐりえん

（東備普及指導区 辻 昭浩）

編集 発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内  
岡山市北区櫛津四九一―一

岡山県林業改良普及協会

第34回

岡山県民有林優良材展示コンクール

岡山県森林組合連合会では、優良材の振興を図り国産材の安定供給及び本県林業の発展を期することを目的として『岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催いたしますので多数参加（出品）されますようご案内申し上げます



令和4年11月9日(水)  
開市 午前9時

■出品資格

県内民有林で私有林・公有林(県有林除く)の造林者



岡山県森林組合連合会  
津山木材共販所  
津山市一宮1189 ☎(0868)28-1118

■出品受付

令和4年10月1日(土)～11月1日(火)

◎主催 岡山県森林組合連合会

◎後援 岡山県・近畿中国森林管理局（岡山森林管理署）  
◎協賛 岡山県木材組合連合会・農林中央金庫岡山支店・全国森林組合連合会



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間  
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間  
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ  
 ゆうちょ銀行 01270-0-5225  
 中国銀行岡山駅前支店 普通1852041  
 トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会  
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。